

伊達市では、基幹産業である「農業」の新規就農者受入にあたり、研修生への給付金支給など研修期間中の生活支援の他、新規就農者でも利用可能なICTを活用した農業用ハウスの整備など様々な取組を進めている。

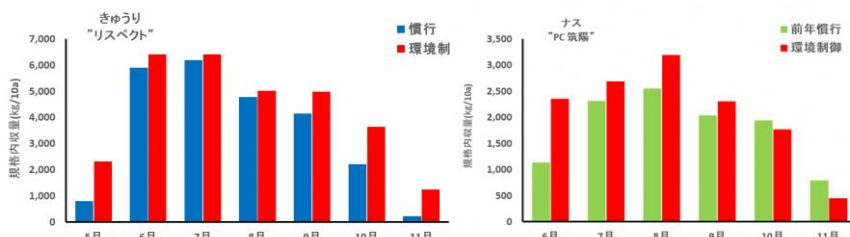
関連数値目標・KPI

	基準値 (R元)	実績 (R3)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
健康産業に取り組む伊達市内の事業所数	15件	15件	100件	15.0%
新規就農研修者数	9人	2人	2人	100.0%

取組の推進体制

伊達市のほか、伊達市農業協同組合、とうや湖農業協同組合、胆振農業改良普及センター、農業委員会等で構成する伊達市農業担い手育成センターにおいて、適切な役割分担の下、官民の連携により取組を効果的に推進。

環境制御技術の導入効果



情報提供: 伊達信用金庫 2022調査

導入効果の比較試験の結果

⇒きゅうり: 5,772kg/10a増収(124%)

⇒ナス : 2,585kg/10a増収(124%)

取組事例 新規就農者受入施策

新規就農者受入推進事業

○主な取組

- ・平成28年度に農業研修生に対する給付金の支給制度を新設
- ・研修生を指導する農家へも指導に係る諸経費を支援
- ・農閑期（冬場）での座学研修、独立前の農地などの紹介、各種補助金の申請サポート等を実施

○主な成果

- ・コロナ禍で研修者数が0人の年度もあったが、一定の新規就農者数を維持している



官民連携と新たな農業関連施設の整備

○主な取組

- ・(株)デンソー、(株)デンソーアグリテックソリューションズと包括連携協定を締結
- ・(株)デンソーより、企業版ふるさと納税を活用して人材派遣を受け、農業による地域活性化に係る事業を推進している。



○主な成果

- ・環境制御システムを導入したビニールハウスを建設し、ICTを活用した施設園芸による研修体制の整備に向けて検証中